

市長（山田憲昭君）

第2次白山市総合計画の策定に当たっての未来への道筋ということで、所信の一端を述べさせていただきたいと思えます。

第2次白山市総合計画は、今後の本市の10年先を見据えた視点から、少子高齢化や人口減少に対応し、未来に明るく希望と夢にあふれた活力あるまちを目指すための方向性を示すものであり、白山市の将来を担う重要な計画であると考えております。

策定に当たりましては、元気で活力ある白山市の実現に向け、基本理念として「健康」と「笑顔」、「元気」の3つの柱を掲げたところであります。

まず初めに「健康」についてであります。健康には、人も自然も産業も白山市の全てが健康であるべきとの思いを込めています。

本市には霊峰白山に抱かれた豊富な自然環境、豊富な水量を誇る手取川水系、白砂青松の日本海など、全国に誇ることができる山から海に至るまでの変化に富んだ自然環境を有しております。これらを取り巻く全てのサイクルにおいて負荷を抑え、将来にわたり健全な循環が行われることが肝要であります。

また、経済活動の活性化では、豊かで魅力ある地域社会の維持発展、まちの活力を高めていく、それが土台であり、産業や行政が健全な経営をすることで市民が安心して働き、生活することが可能となります。その前提として、市民一人一人が生涯を通じて心身ともに健康に暮らせる環境を整備することはもちろんのことであり、健康寿命の延伸に向けた取り組みも重要な施策の一つであります。

次に、「笑顔」についてであります。笑顔は、豊かな心を育み、お互いを思いやるまちづくり、人づくりの根幹であります。

市民が学業や仕事、社会貢献などさまざまな分野で生きがいを持って活躍するとともに、互いを敬い、尊重し、協力し合い、理解をすることで、そこに笑顔が生まれる関係が築き上げられます。

また、少子高齢化が進む中、学校、家庭、地域、行政がお互いに連携を深め、それぞれが時代や地域を超えて交流することで調和を図り、まち全体に笑顔あふれる白山市を築き上げてまいりたいと思っております。

次に、「元気」であります。産業と観光は活力あふれるまちづくりの原動力であります。そのためにも農業、商業、工業、観光を含めた全ての産業において、元気に輝き、活力みなぎるまちづくりが求められてまいります。

また、豊かな自然、特色ある歴史や文化はまちの誇り、個性であるとともに生活する人の元気の源でもあります。そういった生きがいにも通じるものでもあります。これまで培ってきた本市の魅力と資源を最大限に引き出し、次の世

代につながる本市の新たな魅力や資源の創出をしていくことにより、暮らし、経済、環境のバランスのとれた発展を期待するものであります。

市民の暮らしがより豊かになり、本市がさらに発展を遂げることにより、人が元気、まちが元気、自然が元気な白山市を実現することと考えております。

これらを次世代に伝えていくことは私たちの責務でもあり、そのためにも一人一人の市民が元気でなくてはなりません。そのことが家庭の元気につながり、地域の元気となり、都市の元気となって実を結ぶものと考えております。

これら健康、笑顔、元気の取り組みを通して築き上げ、未来に明るい夢と希望あふれる元気なまち白山市を豊かな自然とともに将来に引き継ぐという強い決意を込めて、我々が責任を持って将来都市像に「健康で笑顔あふれる元気都市 白山」を掲げ、サブタイトルといたしまして、「次世代への贈り物」という言葉を盛り込んだところであります。

長期的視点で見ますと、市民が安心して子供を産み育てられる環境づくり、商工業の集積と農林水産資源を生かした産業の振興、白山から日本海までの豊かな自然や歴史、文化を磨き、広め、継承する取り組みを初め、少子高齢化による人口減少対策、高齢化の進展による福祉施策の多様化への対応など、取り組むべき課題は数多くあります。

いずれにいたしましても、本市の魅力を最大限に生かし、将来にわたって市民が安心して住み続けたいと思うまちづくりを目指し、一つ一つの施策に真摯に取り組んでまいりたいというふうに考えております。

今後、小川議員よりいただきました提言も参考にしながら、全庁挙げて第2次白山市総合計画を策定したいというふうに考えております。

次に、松任ふるさと館を改修すればどうかという御質問であります。

松任ふるさと館は、明治から昭和初期にかけて金融・米穀・倉庫業などで活躍いたしました吉田茂平氏の私邸で、大正元年に安吉町から交通の要衝である現在のJR松任駅前に移築したものを昭和57年に市が譲り受け、主屋、門及び両側の物置は平成13年10月に国の登録有形文化財に指定されました。

松任ふるさと館は千代女の里俳句館や松任中川一政記念美術館と一体となり、緑と花を基調にした駅南緑地広場の中心施設として文化意識の高揚を図るとともに、市民の憩いと安らぎの場として親しまれており、市内外から多くの方々に御利用いただいております。

議員御提案の改修であります。これまでも老朽化に対応した修繕は実施しております。それに加えまして、今後、それ相応の改修が必要と判断されれば、バリアフリー化も含め使い勝手のよい施設となるように対応していきたいというふうに考えております。

以上であります。